

# 凜と立つ

誠心一筋に生き 人の幸せの支えとなれ  
多治見西高校附属中学校だより NO.6  
2017/9/22(金) 発行

## 数学での探究型授業——学んだこととグループとiPadを活用

校長 湯原 定雄

ある日の2年生数学の授業のこと、前日まで「平方根」を一通り学習した後、その活用として次のような学習課題に取り組みました。授業者は小木曾賢吾先生です。

担任の〇〇先生が、A4の絵をA3に拡大しようと200%で拡大コピーしたところ失敗した。どうすればいいのか、〇〇先生に教えてあげよう。

もちろん教科書にはありません。平方根の考え方を活用することで日常の事象を深く理解できる先生オリジナルの課題です。

グループでの討議、iPadを使って課題を整理、また、その途中経過を共有したりしながら、最終的には、自分たちでどうすればいいかを見つけ、その理由もきちんと説明するところまで到達することができました。短い時間の中で、よく到達できたものだと私は感心しました。未知の課題に対し、いままで学んだ知識を活用、組み合わせながら「思考の上で、試行錯誤して、自分なりの結論」を導き出し、各自が文章として表現する授業でした。



この授業では、私は次の三つことを感じました。

まず、この課題を解決していくためには、「平方根」の知識が「使える知識」として身につけていることが大切だということ。今課題解決力が求められています、「使える知識が身につけていること」が大切な前提です。この部分をないがしろにしてはこの探究的授業は成立しません。

次に、グループでの話し合いが、「思考の試行錯誤」では不可欠だということです。まずは口にすることで思考が形になります。また、級友の意見を聞いてはっと気づいたり、そのことから新しい発想を得ることがができます。その機会を保障するのがグループ討議です。さらにいえば、このクラスでは生徒たちが自由に意見を言える「学習集団」になっていたことも大切です。

最後に、iPadの有用性です。iPadを使って課題を整理したり、生徒の意見を瞬時にプロジェクターでホワイトボードに映し、共有しました。「主体的、対話的な深い学習」を進める上で有効な手段であることをあらためて感じました。



いま附属中では、生徒にしっかりと知識・技能が身につく、そのうえで、こうした生徒が主体的に取り組み、他者との対話をおとした協働的で探究的な授業をめざしています。

### 10月の主な予定

- |                              |                                   |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 1日(月) 始業式(1限) 2限以降普通授業       | 16日(月) 体育祭代休                      |
| 7日(土) 体育祭りハーサル(午前)*          | 17日(火) 体育祭集会(1限)・異文化研修事前講話(1年・4限) |
| 8日(日) 第2回英検                  | 19日(木) 陶磁器フェスティバル鑑賞(1/2年午前)       |
| 9日(祭) 体育の日                   | 20日(金) 漢字検定                       |
| 10日(火) 体育祭りハーサル(午後)*         | 21日(土) 振替休日(10月28日分)              |
| 11日(水) 会議のため生徒一斉下校(バス 16:25) | 26日(木) 3年生保護者対象第3回高校生活説明会         |
| 12日(木) 体育祭りハーサル(午後)*         | 28日(土) 第4回学校見学会                   |
| 13日(金) 体育祭りハーサル(午前)*         | 30日(月) 動物学研修事前研修(2年生)             |
| 14日(土) 体育祭(昭栄グラウンド)          | 31日(火) 人権講話(全学年・午後)               |
| 15日(日) 体育祭予備日                |                                   |

\*体育祭りハーサルは昭栄グラウンドで実施

〈校長のひとこと……〉体育祭は生徒の「人間力」を高める大切な伝統行事です。

10月14日(土)は平成29年度体育祭です。「ワッショイ! ~ 輪となりつながれ~」をスローガンに「みんなでひとつになり、協力し合い、楽しめる体育祭」をめざし、体育委員を中心とした各委員会、そして応援団のメンバーをはじめとする生徒全員で、それぞれ役割を持って創り上げる体育祭です。自分の思い、他者への思い、そして協働する力をあわせてこの体育祭をつくりあげます。保護者の皆様、ぜひお越しください。生徒一人ひとりの躍動する姿をご覧ください。